

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

福山市東町2丁目3番6号

学校法人 穴吹学園

令和5年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名	学校法人 穴吹学園
住所	広島県福山市東町2丁目3番6号
電話	(084)931-3325
FAX	(084)922-5924
HP	https://web.anabuki-net.ne.jp/

(2) 建学の精神

地域の学生を地域で育て、高い専門性と豊かな人間性を育み、地域から信頼され、貢献できる人材を育成する。

(3) 本学園の沿革

- | | |
|----------------|--|
| 昭和63年12月(1988) | ●学校法人穴吹学園設立(福山) |
| 平成1年4月(1989) | ●穴吹コンピュータ専門学校・穴吹国際ビジネス専門学校を開校(福山) |
| 平成3年4月(1991) | ●学校法人穴吹学園設立(高松)
●穴吹デザイン専門学校を開校(広島)
●社会人対象穴吹カレッジキャリアアップスクールを開講(高松・徳島・福山) |
| 平成12年4月(2000) | ●TAC福山校開校 |
| 平成14年10月(2002) | ●穴吹カレッジグループ新CI制定 |
| 平成15年4月(2003) | ●穴吹ビューティ専門学校を開校(福山) |
| 平成16年9月(2004) | ●穴吹カレッジグループと辰巳法律研究所が法科大学院進学、司法試験対策講座で教育提携 |
| 平成18年9月(2004) | ●穴吹調理師専門学校を開校(福山) |
| 平成20年4月(2008) | ●穴吹動物専門学校を開校(福山)
●穴吹コンピュータ専門学校を、穴吹情報デザイン専門学校と校名を変更(福山)
●穴吹国際ビジネス専門学校を、穴吹医療福祉専門学校と校名を変更(福山)
●穴吹調理師専門学校を、穴吹調理製菓専門学校と校名を変更(福山) |
| 平成26年3月(2014) | ●穴吹学園(18校55学科)が実践的な職業教育に組織的に取り組む学科(「職業実践専門課程」として文部科学大臣より認定される(文部科学省告示第59号)) |
| 平成28年4月(2016) | ●穴吹デザイン専門学校(広島市)設置者変更に伴い学校法人となる |
| 平成29年8月(2017) | ●あなかれほいくえん福山開園(福山) |
| 令和3年4月(2021) | ●穴吹学園福山5校を再編し、穴吹ビジネス専門学校、穴吹国際みらい専門学校、穴吹調理製菓専門学校の3校体制となる |

(4)設置する学校・課程・学科等

*印は職業実践専門課程として認定された学科である。

学校名	開校年月	課程・学科等	摘要
穴吹ビジネス専門学校	平成1年4月	工業専門課程 *情報システム学科(3年制) *ゲームクリエイター学科(3年制) *ITビジネス学科(2年制) *グラフィックデザイン学科(2年制) *CG・WEBデザイン学科(2年制) *マンガ・イラスト学科(2年制) 国際ITエンジニア学科(2年制) ネット動画クリエイター学科(2年制) 商業実務専門課程 *医療事務・クレーク学科(2年制) *動物看護総合学科(3年制) *動物健康美容学科(2年制) 公務員ビジネス学科(2年制) 文化・教養専門課程 公務員学科(1年制)	※令和6年度課程変更
穴吹国際みらい専門学校	平成1年4月	商業実務専門課程 フライタル・ホテル学科(2年制) 国際ホテルビジネス学科(2年制) 教育・社会福祉専門課程 *こども未来教育学科(3年制) 文化・教養専門課程 日本語学科(1.5年制) 日本語学科(2年制) 通信課程 社会福祉学科(1.5年制) 精神保健福祉学科(9ヶ月制)	
穴吹調理製菓専門学校 厚労省指定養成施設 調理師 製菓衛生師	平成18年4月	衛生専門課程 *高度調理学科(2年制) *パティシエ・ベーカリー学科(2年制) 国際調理ビジネス学科(1年制)	
穴吹デザイン専門学校(広島市)	平成3年4月	工業専門課程 *建築学科(2年制) *インテリアデザイン学科(2年制) *商品企画デザイン学科(2年制) *グラフィックデザイン学科(2年制) *マンガ・アニメーション学科(2年制) *CG・ゲーム学科(2年制) 文化・教養専門課程 ネット動画クリエイター学科(2年制)	※令和4年4月新設

(5)各学校学生数状況

■専門学校／昼間課程(5月1日現在)

学校名	令和5年度				令和6年度			
	入学定員	入学生数	収容定員	在校生数	入学定員	入学生数	収容定員	在校生数
穴吹ビジネス専門学校	355	271	815	576	355	226	815	545
穴吹国際みらい専門学校	145	53	315	181	145	101	315	189
穴吹調理製菓専門学校	100	54	170	115	100	42	170	93
穴吹デザイン専門学校	215	179	430	362	215	179	430	342
合計	815	557	1,730	1,234	815	548	1,730	1,169

※日本語学科R5.10月入学生含む

■専門学校／通信課程(5月1日現在)

学校名	令和5年度		令和6年度	
	収容定員	在校生数	収容定員	在校生数
穴吹国際みらい専門学校(社福通信)	160	78	160	62
穴吹国際みらい専門学校(精神保健)	-	-	-	-
合計	160	78	160	62

(6)収容定員充足率

毎年度5月1日現在

学校名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
穴吹ビジネス専門学校	80%	89%	94%	70%	66%
穴吹国際みらい専門学校		58%	66%	57%	60%
穴吹調理製菓専門学校	49%	62%	75%	67%	54%
穴吹デザイン専門学校	81%	93%	89%	84%	79%

(7) 役員の概要

令和6年3月31日現在

定員数(理事6名, 監事2名)

区分	業務執行	氏名	選任区分(条項)	任期	常勤 非常勤	主な現職等
理事長	○	穴吹 薫	学識経験者 (第10条第1項第3号)	令和5年5月から 令和7年5月まで	常勤	平成29年6月理事長就任 学校法人穴吹学園 理事長
専務理事	○	大平 康喜	評議員 (第10条第1項第2号)	令和5年5月から 令和7年5月まで	常勤	平成23年5月専務理事就任 学校法人穴吹学園 本部長
常務理事	○	福田 稔	校長 (第10条第1項第1号)	令和4年5月か ら	常勤	平成11年5月理事就任 穴吹国際みらい専門学校 校長
理事	○	信岡 誠三	評議員 (第10条第1項第2号)	令和5年5月から 令和7年5月ま で	常勤	令和4年5月理事就任 学校法人穴吹学園中国校 統括副校長
理事	○	穴吹 忠嗣	評議員 (第10条第1項第2号)	令和5年5月から 令和7年5月ま で	常勤	平成18年5月理事就任 穴吹興産株式会社代表取締役社長
理事		佐竹 新市	学識経験者 (第10条第1項第3号)	令和5年5月から 令和7年5月まで	非常勤	令和2年5月理事就任 学校法人龍馬学園 理事長
監事		森野 知行	(第11条)	令和5年5月から 令和7年5月まで	非常勤	平成23年5月就任
監事		田島 建彦	(第11条)	令和5年5月から 令和7年5月まで	非常勤	平成30年5月就任

上記役員は、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の役員賠償責任保険に加入している。

(8) 評議員の概要

令和6年3月31日現在

定員数(評議員13名)

選任区分(条項)	氏名	任期	主な現職等
職員 (第20条第1項第1号)	信岡 誠三	R5年5月～R7年5月	(学)穴吹学園 中国校 統括副校長
	尾崎 隆一	R5年5月～R7年5月	穴吹デザイン専門学校 副校長
	壽福 英尚	R5年5月～R7年5月	(学)穴吹学園 中国校 副校長代理
	植村 祐介	R5年5月～R7年5月	穴吹デザイン専門学校 副校長代理
	種田 真幸	R5年5月～R7年5月	(学)穴吹学園 広島地区 事務局長
卒業生 (第20条第1項第2号)	山岡 修	R5年5月～R7年5月	(学)穴吹学園 広島校同窓会 創進会会長
	友滝 隆宏	R5年5月～R7年5月	(学)穴吹学園 福山校同窓会 城見会会長
	谷中 義昌	R5年5月～R7年5月	(学)穴吹学園 徳島校 統括副校長
学識経験者 (第20条第1項第3号)	穴吹 忠嗣	R5年5月～R7年5月	穴吹興産(株) 代表取締役社長
	穴吹 忠裕	R5年5月～R7年5月	医師
	大平 康喜	R5年5月～R7年5月	穴吹カレッジグループ本部 本部長
	山本 展啓	R5年5月～R7年5月	土地家屋調査士、司法書士
	尾崎 健一	R5年5月～R7年5月	税理士

(9)教職員の概要

令和6年5月1日現在

(単位:人)

学校名	教員		職員		合計	平均年齢
	本務	兼務	本務	兼務		
穴吹ビジネス専門学校	23	33	6	0	62	43
穴吹国際みらい専門学校	11	34	6	0	51	47
穴吹調理製菓専門学校	6	21	7	0	34	49
穴吹デザイン専門学校	19	51	8	2	80	46
小計	59	139	27	2	227	46
キャリアアップスクール福山	0	25	4	4	33	42
あなかれほいくえん福山	3	8	1	0	12	50
小計	3	33	5	4	45	44
合計	62	172	32	6	272	45

※兼務職員は校医を含む。

(1)事業の概要

福山校では令和3年4月よりこれまでの5校体制から穴吹ビジネス専門学校、穴吹国際みらい専門学校、穴吹調理製菓専門学校の3校体制に再編し運営しております。

学生募集では、中国校全体入学生数は548名、通信課程を含めた全体では579名を迎え入れることができました。令和5年度卒業年次生の就職状況は、求職者406名全員が内定(業界内定率89%、地元就職率81%)を頂くことができました。文部科学省による専修学校専門課程における「職業実践専門課程」は、中国3校20学科が認定・告示を受け、引き続きその内容に沿った授業を進めており、ホームページに学校評価を公開しております。

令和5年度の状況につきましては、新型コロナウイルス感染症も令和5年5月8日から「5類感染症」に移行したことを受け、学園祭や卒業式等の行事につきましては感染拡大前の状態に戻し、学校運営を進めてまいりました。

また、留学生については、令和5年度春生、秋生として在留許可された55名のうち、6名は留学を辞退、1名は大使館でビザが不交付となり、48名が入国いたしました。

令和3年4月より高松、徳島、福山、広島と穴吹カレッジグループ内には「保育園」「高等学校」「専門学校」「専門職短大」「社会人教育」「通信教育」の幅広い機能を備える学校群になりました。今後はこれらひとつひとつを充実させるとともに相互に連携し地域の発展に貢献できる学校を目指します。そのような環境の中で本学園の将来のあるべき姿を目指し、中期的な観点から法人経営、学校運営の方向性と中期目標及びそれを達成する為の施策を示すため令和6年度から3年間の中期計画を策定いたしました。

(2) 基本の方針(中期経営計画: 令和6年度～令和8年度)

設備投資計画 1. 新分野の学校・学科の設置を目指し、新たな校舎の選定および学校再編を目的とする将来に向けた投資を行う 2. 専門学校として、教育力と収益性の向上を目指し、人材登用と職員育成のために投資を行う 3. 日本語学科および国際系学科の定員増を目指、生活環境確保のための投資を行う 4. 学習環境の充実を図り、中等教育機関のICT教育に対応できるよう、新たな設備を計画的に導入する
教育の質向上 1. 国が定める専修学校への新たな制度措置を視野に入れ、教育の質の保証を図る 2. 企業連携をこれまで以上に推進し、インターンシップなどの実践教育に対応した学科を増やす 3. 全学科で適切にICTを取り入れた、効果的な授業設計および運営を目指す 4. 産学・地域連携に注力し、更なる学校の知名度を上げるとともに地域に開かれた教育を展開する
広報(募集) 1. 進路決定で「選ばれる学校」になるために、中国校のブランディングを構築する 2. SEO対策により未認知層からのHP流入数を確保し、資料請求数とOC予約数を増加させる 3. CRM(顧客関係管理)に基づき、出願見込者に対しSNS配信やDM等で顧客育成し、「教職員一体」となったOCを行う
就職・キャリア 1. 各専門分野の情報発信力を高め、業界並びに地元優良企業への就職率を向上させる 2. 専門性の高い業界の選考方法を収集し、他校にない独自の就職支援方法を構築する 3. 卒業生の追跡調査から企業が求める人材を把握したうえで学生指導にあたる 4. 穴吹カレッジ広島留学生支援会を設立し、留学生就職サポート体制を構築する
ダイバーシティ 1. 留学生との文化交流を積極的に図ることができる環境を作り、真のグローバル人材を育成するカリキュラムを構築する 2. 教職員や学生が共に学ぶダイバーシティトレーニングを実施し、差別や偏見を減らす学校環境を作る
社会人教育 1. 黒字化体質へと安定させるため、単価の高い講座、利益率の高い事業の獲得に向けて注力する 2. 少人数でも質の高いサービス・運営定着に向けたチームとしての体制づくりを行う 3. 国の行政事業を安定的に受託・運営できる体制を目指す
学内保育部 あなかれほいくえん福山 1. 児童育成協会と連携し、ヒヤリハットゼロを継続することで、安心・安全な保育園にする 2. 継続的な環境整備を行い、保護者への信頼度が向上する園運営を行う 3. 常に園児数の定員を確保できる体制を目指す
デジタル化の推進と業務改善 1. DX導入に向けた教職員研修の充実を図り、業務の効率化と生産性の向上を目指す 2. DX推進による業務改善を図り、働き方改革をより一層進め、教職員のモチベーション向上を行う

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

有形固定資産は、新設学科開設や学生数増加による改修工事や設備投資を行い、固定資産の減価償却により、47百万円増加し20億16百万円となりました。その他の固定資産は、長期貸付金の回収、収益事業元入金が増額等により、21百万円となりました。

流動資産は、現金預金が3億26百万円増加し26億3百万円となり、総資産額は3億7百万円増加し、47億25百万円となりました。

固定負債は、借入金の計画的返済で54百万円減少、退職給与引当金36百万円の計上で57百万円減少し、1億62百万円となりました。流動負債は16百万円増加し12億14百万円となり、負債合計は13億76百万円となりました。

基本金については、第1号基本金の適正な計上により、54百万円増加し19億06百万円となり、翌年度繰越収支差額は14億42百万円の収入超過となりました。

② 収支計算書の状況

(ア) 資金収支計算書

収入の部について、前年度繰越支払資金23億5百万円を除いた当年度収入は16億36百万円で、主な項目は、学生生徒等納付金収入14億34百万円となりました。

支出の部は、翌年度繰越支払資金26億31百万円を除いた当年度支出は13億10百万円で、主な項目は人件費支出6億49百万円、教育研究費支出2億96百万円、管理経費支出2億74百万円、借入返済支出55百万円、そして施設、設備関係支出が77百万円です。

(イ) 事業活動収支計算書

教育活動収支は、学生生徒等納付金14億34百万円、手数料18百万円、寄付金7百万円(保護者会、一般寄付、現物寄附等)、経常費等補助金1億28百万円(保育園運営費、県修学支援金等)、付随事業収入45百万円等で教育活動収入は、16億38百万円となりました。

教育活動収入から人件費、教育研究費、管理経費などの教育活動支出12億97百万円を差し引いて、教育活動収支差額3億41百万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち71百万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息、収益事業による教育活動外収入0百万円から借入金利息による教育活動外支出1百万円を差し引いて教育活動収支差額-1百万円の支出超過となりました。

特別収支は、事業活動収入が資産売却差額、施設設備補助金、過年度修正額で9百万円となり、事業活動外支出を差し引いて、9百万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は3億48百万円の収入超過となりました。ここから基本金組入額54百万円を差し引くと、令和5年度の収支差額は2億94百万円の収入超過となりました。

(2) 経年比較

①貸借対照表

(単位:円)

科目	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
固定資産	1,929,495,538	2,048,457,541	2,076,514,539	2,032,891,478	2,037,635,196
流動資産	1,487,891,798	1,764,205,503	2,005,459,008	2,384,865,124	2,687,486,987
現金預金	1,410,983,356	1,666,851,999	1,905,572,398	2,304,813,623	2,631,413,005
資産の部合計	3,417,387,336	3,812,663,044	4,081,973,547	4,417,756,602	4,725,122,183
固定負債	245,373,000	301,989,000	259,523,000	219,865,000	162,082,350
流動負債	1,030,994,236	1,250,822,599	1,215,924,032	1,197,382,480	1,214,074,686
外部負債(借入金、未払金等)	490,811,038	644,777,448	536,824,122	418,202,341	417,734,120
前受金	785,556,198	908,034,151	938,622,910	999,045,139	958,422,916
負債の部合計	1,276,367,236	1,552,811,599	1,475,447,032	1,417,247,480	1,376,157,036
基本金	1,689,852,643	1,743,984,643	1,798,116,643	1,852,248,643	1,906,380,643
繰越収支差額	451,167,457	515,866,802	808,409,872	1,148,260,479	1,442,584,504
純資産の部合計	2,141,020,100	2,259,851,445	2,606,526,515	3,000,509,122	3,348,965,147
負債及び純資産の部合計	3,417,387,336	3,812,663,044	4,081,973,547	4,417,756,602	4,725,122,183
運用資産余裕比率(年)	0.8	0.8	1.2	1.5	1.7
流動比率(%)	144.3%	141.0%	164.9%	199.2%	221.4%
総負債比率(%)	37.3%	40.7%	36.1%	32.1%	29.1%
前受金保有率(%)	179.6%	183.6%	203.0%	230.7%	274.6%
基本金比率(%)	96.9%	97.0%	97.1%	97.2%	97.2%

②収支計算書

(1) 資金収支計算書

(単位:円)

(単位:円)

科目(収入の部)	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
学生生徒等納付金収入	1,142,990,478	1,188,155,253	1,306,522,479	1,399,387,700	1,433,809,019
手数料収入	15,878,538	19,118,324	20,293,326	19,099,934	18,530,869
寄付金収入	5,360,457	15,848,853	7,424,000	7,172,000	7,660,000
補助金収入	24,684,468	161,267,727	116,924,622	130,381,731	134,707,001
資産売却収入	8,990,912	0	35,180	0	112,180
付随事業・収益事業収入	66,698,465	70,085,721	64,085,017	73,895,259	45,061,419
受取利息・配当金収入	1,374,000	20,164	6,000	30,000	40,000
雑収入	7,205,447	4,842,226	4,168,863	3,822,932	6,913,801
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	779,320,970	902,731,917	935,335,254	998,204,908	954,641,752
その他の収入	52,052,693	74,106,765	107,443,310	74,663,366	54,658,254
資金収入調整勘定	△ 726,161,546	△ 842,361,135	△ 967,999,219	△ 979,043,672	△ 1,019,760,444
前年度繰越支払資金	1,203,336,188	1,410,983,356	1,666,851,999	1,905,572,398	2,304,813,623
収入の部合計	2,581,731,070	3,004,799,171	3,261,090,831	3,633,186,556	3,941,187,474
人件費支出	590,364,213	602,979,386	587,049,128	598,576,482	649,450,023
教育研究経費支出	200,596,386	271,400,868	271,343,454	285,027,287	296,180,076
管理経費支出	274,575,942	252,608,126	235,677,236	272,019,948	274,106,755
借入金等利息支出	3,440,767	2,850,678	2,274,085	1,691,400	1,110,951
借入金等返済支出	54,132,000	54,132,000	54,132,000	54,132,000	54,132,000
施設関係支出	11,452,000	204,695,600	78,219,000	24,345,900	64,764,100
設備関係支出	40,579,714	16,954,415	34,169,432	24,224,146	12,275,377
資産運用支出	0	1,000,000	0	0	0
その他の支出	125,178,480	142,598,309	222,188,925	187,955,093	125,694,184
資金支出調整勘定	△ 129,571,788	△ 211,272,210	△ 129,534,827	△ 119,599,323	△ 167,938,997
翌年度繰越支払資金	1,410,983,356	1,666,851,999	1,905,572,398	2,304,813,623	2,631,413,005
支出の部合計	2,581,731,070	3,004,799,171	3,261,090,831	3,633,186,556	3,941,187,474

(2)事業活動収支計算書

(単位:円)

科 目		令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,142,990,478	1,188,155,253	1,306,522,479	1,399,387,700	1,433,809,019
		手数料	15,878,538	19,118,324	20,293,326	19,099,934	18,530,869
		寄付金	5,360,457	16,154,653	16,613,374	7,172,000	7,660,000
		経常費等補助金	24,684,468	95,635,727	114,636,622	130,381,731	127,776,535
		付随事業収入	48,534,214	70,085,721	62,085,017	71,895,259	45,061,419
		雑収入	7,131,697	4,842,226	4,077,301	3,822,932	5,433,801
	教育活動収入計	1,244,579,852	1,393,991,904	1,524,228,119	1,631,759,556	1,638,271,643	
	事業活動支出の部	人件費	590,364,213	609,647,386	583,647,128	599,383,482	645,799,373
		教育研究経費	200,596,386	271,400,868	271,343,454	285,027,287	296,180,076
		管理経費	351,191,617	331,875,076	323,600,073	353,704,776	354,951,559
		徴収不能額等	0	0	0	0	336,300
教育活動支出計		1,142,152,216	1,212,923,330	1,178,590,655	1,238,115,545	1,297,267,308	
教育活動収支差額		102,427,636	181,068,574	345,637,464	393,644,011	341,004,335	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	1,374,000	20,164	6,000	30,000	40,000
		その他の教育活動外収入	18,164,251	0	2,000,000	2,000,000	0
		教育活動外収入計	19,538,251	20,164	2,006,000	2,030,000	40,000
	支出の部	借入金等利息	3,440,767	2,850,678	2,274,085	1,691,400	1,110,951
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	3,440,767	2,850,678	2,274,085	1,691,400	1,110,951
教育活動外収支差額		16,097,484	△ 2,830,514	△ 268,085	338,600	△ 1,070,951	
経常収支差額		118,525,120	178,238,060	345,369,379	393,982,611	339,933,384	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	35,179	0	112,178
		その他の特別収入	73,750	65,632,000	2,379,562	0	8,410,466
		特別収入計	73,750	65,632,000	2,414,741	0	8,522,644
	支出の部	資産処分差額	1,692,338	20,904,776	1,047,942	4	3
		その他の特別支出	1,040,740	104,133,939	61,108	0	
		特別支出計	2,733,078	125,038,715	1,109,050	4	3
特別収支差額		△ 2,659,328	△ 59,406,715	1,305,691	△ 4	8,522,641	
基本金繰入前当年度収支差額		115,865,792	118,831,345	346,675,070	393,982,607	348,456,025	
基本金繰入額合計		△ 54,132,000	△ 54,132,000	△ 54,132,000	△ 54,132,000	△ 54,132,000	
当年度収支差額		61,733,792	64,699,345	292,543,070	339,850,607	294,324,025	
前年度繰越収支差額		389,433,665	451,167,457	515,866,802	808,409,872	1,148,260,479	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		451,167,457	515,866,802	808,409,872	1,148,260,479	1,442,584,504	
(参考)							
事業活動収入計		1,264,191,853	1,459,644,068	1,528,648,860	1,633,789,556	1,646,834,287	
事業活動支出計		1,148,326,061	1,340,812,723	1,181,973,790	1,239,806,949	1,298,378,262	
人件費比率		46.7%	43.7%	38.2%	36.7%	39.4%	
教育研究経費比率		15.9%	19.5%	17.8%	17.4%	18.1%	
管理経費比率		27.8%	23.8%	21.2%	21.6%	21.7%	
事業活動収支差額比率		9.2%	8.1%	22.7%	24.1%	21.2%	
学生生徒等納付金比率		90.4%	85.2%	85.6%	85.7%	87.5%	
経常収支差額比率		9.4%	12.8%	22.6%	24.1%	20.7%	

(3)その他

①有価証券の状況

名称	期末残高	備考
なし	0	

②借入金の状況

名称	期末残高	利率	返済期限
(株)中国銀行	0	1.25%	令和7年3月5日
(株)中国銀行	9,335,000	0.84%	令和8年5月5日
(株)広島銀行	10,070,000	0.88%	令和8年5月31日
(株)もみじ銀行	9,440,000	0.85%	令和8年5月7日
返済1年以内の長期借入金	54,132,000		
合計	82,977,000		

③学校債の状況

名称	期末残高	備考
なし	0	

④寄付金の状況

区分	金額	備考
特別寄付金	7,660,000	穴吹学園保護者会、同窓会
合計	7,660,000	

⑤補助金の状況

区分	金額	備考
国庫補助金(教育)	29,828,623	企業主導型保育事業運営費助成金
県補助金(教育)	95,367,000	授業料等減免補助金
	977,328	授業目的公衆送信補償金補助金
	1,000,000	職業実践専門課程推進補助金
	170,000	福山市保育施設等応援事業費補助金
	300,000	新型コロナウイルス感染症対策補助金
	133,584	結核予防補助金
県補助金(設備)	2,310,000	省エネ・CO2削減対策支援事業費補助金
	4,620,466	省エネルギー投資促進支援事業費補助金
合計	134,707,001	

⑥収益事業の状況

区分	金額	備考
貸教室・貸し駐車場・トリミング事業	0	

⑦関連当事者等との取引の状況

属性	名称	資本金	事業内容	役員兼任	事実上の関係	備考
関係法人	(株)穴吹カレッジサービス	10,000,000	ソフト開発	兼任3名	ソフト、備品購入	
役員関係法人	(株)穴吹クリーンサービス	10,000,000	ビル清掃	-	清掃契約	

■参考資料 財務比率

運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)÷経常支出	※単位は年
<p>一年間の経常的な支出規模に対してどの程度の運用資産が蓄積されているかを表す指標。 この比率が高いほど運用資産の蓄積が良好であり、経常的な収支が安定しているといえる。</p>		
流動比率	流動資産÷流動負債	
<p>資金流動性(短期的な支払い能力)を判断する指標。 この比率が200%以上であれば優良といえる。</p>		
総負債比率	総負債÷総資産	
<p>総資産に対する他人資本の比重を評価する指標。 この比率が低いほど望ましい。</p>		
前受金保有率	現金預金÷前受金	
<p>翌年度の授業料等が繰越資金である現金預金の形で年度末に保有されているかを測る指標。 この比率は100%を超えることが一般的。</p>		
基本金比率	基本金÷基本金要組入額	
<p>基本金組入対象資産(要組入額)に対する組入済基本金の比率。 借入金等で対象資産を取得していることを意味し上限100%に近いことが望ましい。</p>		
人件費比率	人件費÷経常収入	
<p>学校の実態にかなった水準を維持する必要あり。</p>		
教育研究費比率	教育研究費÷経常収入	
<p>教育研究活動の維持・充実のために収支均衡を失しない範囲で高くなることが望ましい。</p>		
管理経費比率	管理経費÷経常収入	
<p>教育研究活動の維持・充実のために収支均衡を失しない範囲で高くなることが望ましい。</p>		
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入	
<p>この比率がプラスが大きいほど自己資本が充実し財政面での将来の余裕につながる。</p>		
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金÷経常収入	
<p>外部要因に影響されることの少ない自己財源の比率であり安定した推移が望ましい。</p>		
経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入	
<p>臨時的要素を除いた経常的な活動の比率でありプラスで大きいほど安定している。</p>		

【補足資料】

(1) 国家資格等の取得状況

① 国家試験等(養成施設)の受験状況

国家試験等	受験者数	合格者数	合格率	合格目標	広島県合格率
製菓衛生師	30	21	70.0%	80%	81.5%

② 国家試験等(通信課程)の受験状況

国家試験等	受験者数	合格者数	合格率	合格目標	全国合格率
社会福祉士	57	32	56.1%	50%	58.1%

③ 国家資格等の受験状況

国家資格等	受験者数	合格者数	合格率	合格目標	全国合格率
基本情報技術者	83	17	20.5%	30%	未発表
愛玩動物看護師(国家試験)	27	21	78%	100%	68.6%

④ 国家資格等の取得状況

国家資格等	取得者数	取得率
保育士	11	100%
幼稚園教諭2種	11	100%
調理師	28	100%

(2)学生(令和6年度入学生)の募集状況

学 校 名	入学定員	出願目標	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年入学者	前年比	目標比
穴吹ビジネス専門学校	355	303	253	252	237	226	271	83%	83%
穴吹国際みらい専門学校	70	50	69	69	58	56	27	207%	138%
穴吹調理製菓専門学校	100	93	46	46	45	42	54	78%	49%
穴吹デザイン専門学校	215	201	189	189	183	179	179	100%	94%
小計	740	647	557	556	523	503	531	95%	86%
日本語学科 2年制	45	41	49		49	45	25	-	120%
日本語学科 1.5年制 ※R6.10月入学	30	45	54		54	未定	23	#VALUE!	120%
小計	75	86	103	0	103	45	48	94%	120%
(穴吹国際みらい専門学校) 社会福祉学科 一般養成課程(1年6ヵ月)	80	35	32	32	31	31	29	107%	91%
小計	80	35	32	32	31	31	29	107%	91%
合計	895	768	692	588	657	579	608	95%	90%

(3) 学生(令和5年度卒業生)の就職状況 (日本語学科及び通信課程を除く)

学 校 名	卒業生数	求職者数	内定者数	求職者 内定率	業界 内定率	地元 就職率	C1 内定率
穴吹ビジネス専門学校	193	170	170	100%	85%	84%	44%
穴吹国際みらい専門学校	22	21	21	100%	100%	81%	57%
穴吹調理製菓専門学校	59	54	54	100%	100%	69%	67%
穴吹デザイン専門学校	179	161	161	100%	72%	88%	25%
合計	453	406	406	100%	89%	81%	48%

※C1(カテゴリーワン)企業とは、次のいずれかに該当する企業をいう。

①上場企業もしくはそれに準ずる企業

②知名度の高い地元有力企業及び特化した技術力・ネームバリューを有する業界有名企業